



ひとりぼっち ゼロ PROJECT

ニュース No.53
2022.3.1

◆2月8日に、優生裁判の原告や支援者らによる「勝利判決を勝ち取るための全国集会」がリモートで開催されました。弁護団による裁判の経過報告の後、全国の原告のみなさんがご自分の辛い経験や思いを語られました。兵庫の原告である小林さんは「何の説明もないまま、手術を受けさせられた妻とともに苦しみ続けてきた。裁判の結果、除斥期間があるからという理由で、私たちの訴えは退けられた。障害者に対する差別は許さない。この思いを理解してほしい。」と切々と訴えられ、その無念さが伝わってきました。

優生保護法裁判の勝利をめざす全国集会に約400名参加



◆兵庫弁護団代表の藤原弁護士は「被害者の人権が20年の除斥期間で消滅していいのか、再検討を最高裁に迫る」「障害者権利条約に反する人権侵害は許されない」「公正な裁判を求める署名や集会、学習会、明石市のように条例を作ってと運動していく」「差別のない社会にしていくために、この裁判の判決が国や社会を動かす力をつくる」と力強く語られました。

※2月22日、大阪高裁で控訴審判決、3月11日、東京高裁で控訴審判決が言い渡されます。

◆最後に旧優生保護法被害者等の尊厳回復及び支援に関する条例を制定した明石市の泉房穂市長が「パブリックコメントや障害者10団体、障害者以外の団体等、みんなの声があったから条例ができた」「優生思想、差別、偏見を根絶し、共に生きる社会をつくっていきましょう」と発言されました。

★DVD 発売開始!

「1億円達成イベント みんな集まろう!」
字幕・手話・資料付 頒価1,000円

「神戸長田ふくろうの杜」の建設運動に力をいただいたみなさんの手作りの特別イベントがDVDに! 山村賢二さん、鎌田種子さん、中内ツヤ子さんの人生語りも収録しました。



運動の苦勞と喜びが詰まったみんなのDVDです。ぜひご覧ください!!

◆1/22 に第2回神戸市における聴覚障害者の福祉拡充のための勉強会開催 主催:神戸ろうあ協会

阪神淡路大震災時の被災者・避難者支援をきっかけに、災害時に頼りになる手話通訳者を福祉事務所へ配置するという要望活動を続け、約12年をかけて週に1回半日だけの配置から開庁日はフルタイム配置されるようになった。今後は災害時でも円滑に機能する体制づくりが課題であり、その検証を行うことの重要性について話し合われた。第3回目最終は3月21日13時30分～開催予定。関心のある方は傍聴可能。

★プレート募金をありがとうございます。
2022.2 竹口信和様・西垣正子様

※新年大会で購入されたDVDには資料が入っていません。申し訳ありませんが、事務局までご連絡いただければ、お渡しいたします。

連絡先：きこえない人のひとりぼっちをなくそう PROJECT 事務局（神戸ろうあ協会内）

TEL：078-371-3071 FAX：078-371-3052

E-mail：hitoribotch_0@.yahoo.co.jp

https://www.normanet.ne.jp/~hitori-0/

